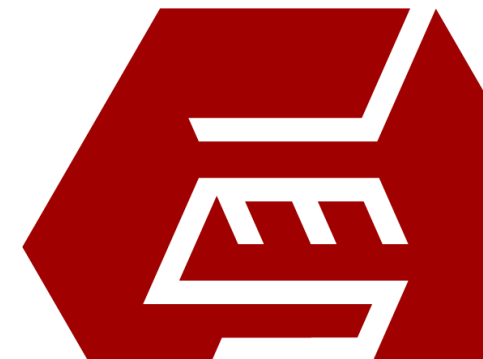


日本初のETFホワイトレーベルサービスを提供  
～世界中の多様な運用商品へのアクセスを可能にします～



日本資産運用基盤  
Japan Asset Management Platform

2026年3月





## 大原啓一

日本資産運用基盤（JAMP）代表取締役社長

2003年-2004年（24歳-25歳）

野村資本市場研究所で欧米の資産運用業界の調査研究に従事

2004年-2007年（25歳-28歳）

現・アセットマネジメントOneで機関投資家向け投資運用商品の営業業務を担当

2007年-2015年（28歳-35歳）

駐在員として英国ロンドンに赴任し、欧州・中東の機関投資家向け営業に従事

20-30代のコアな時代をヨーロッパの資産運用業界のエコシステムで過ごす

2015年-2017年（35歳-38歳）

日本に帰国し、現・マネックス・アセットマネジメントを創業、社長に就任

ゼロから資産運用会社を立ち上げて痛感した日本の資産運用業界の非効率性

2018年-現在（38歳-46歳）

JAMPを創業、日本の資産運用業界の事業支援基盤の構築・運営に従事

# 日本資産運用基盤のサービスモデル概観

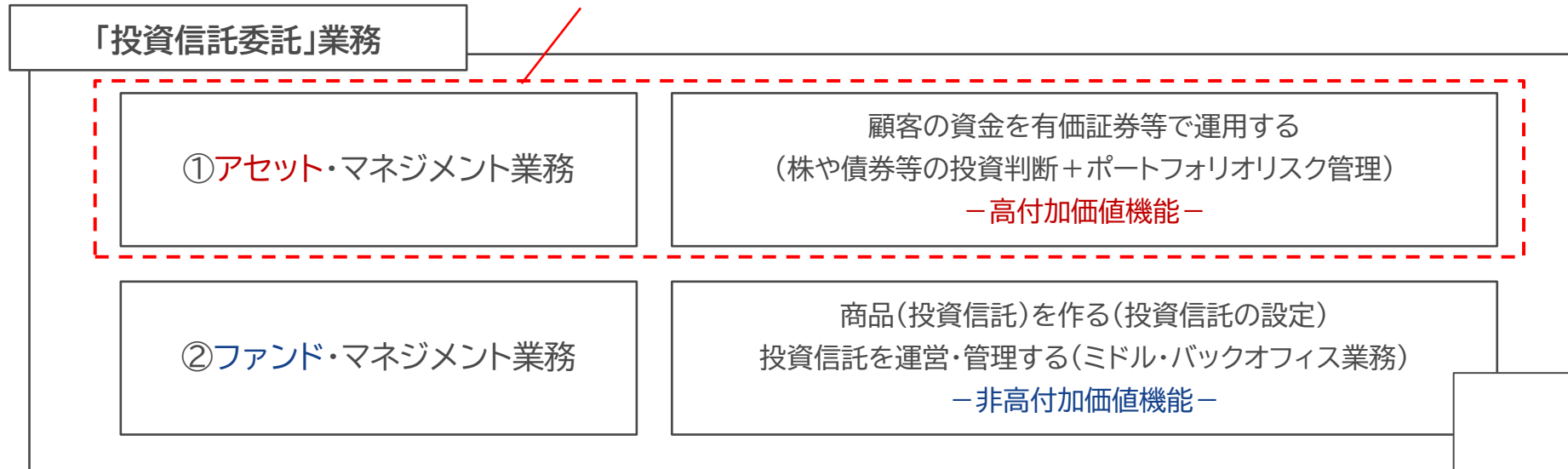
弊社・日本資産運用基盤は、「金融ビジネスを最適化する」をコーポレートミッションとし、各種パートナーと連携し、金融機関の資産運用ビジネスの効率化・高度化をご支援しています。



# 日本資産運用基盤の問題意識

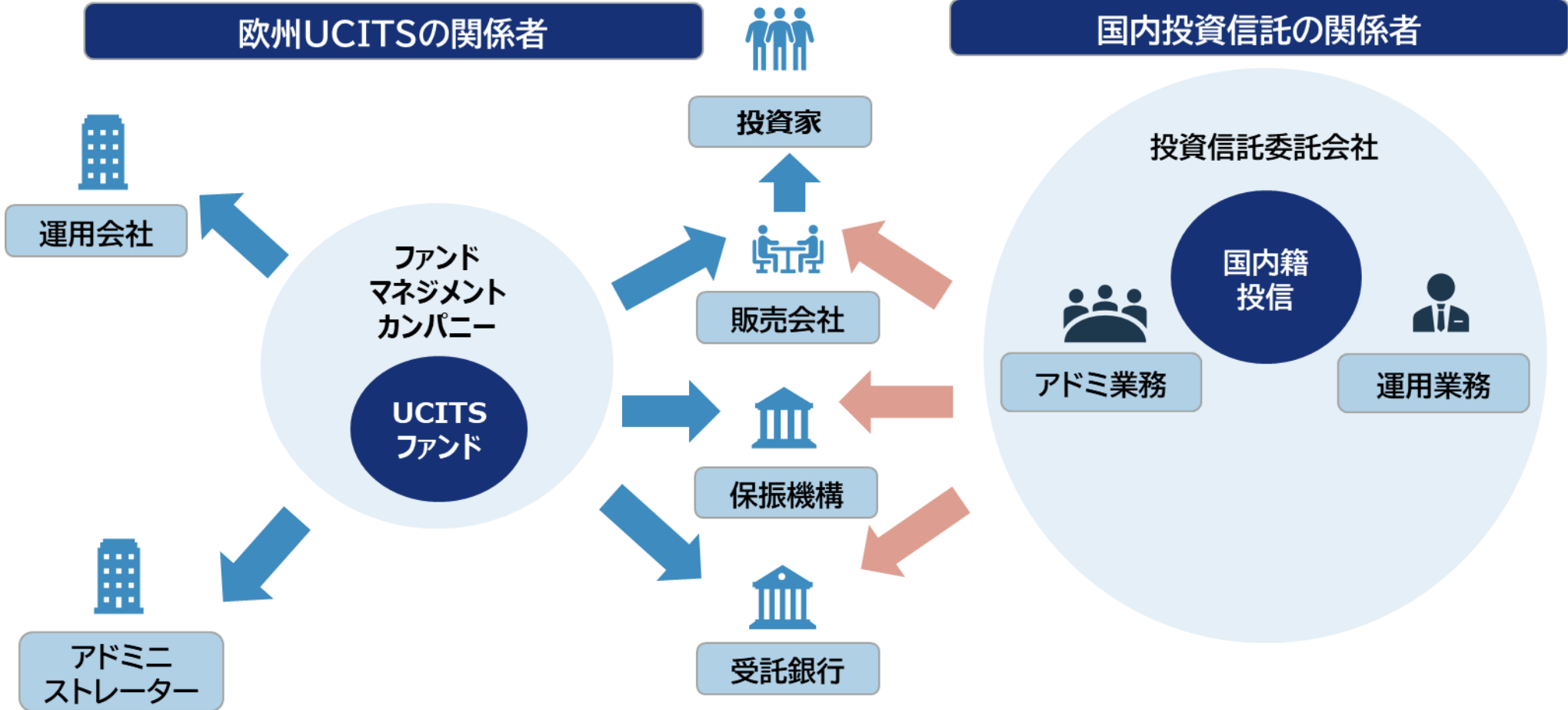
資産運用会社が本当に集中したいのは高付加価値なアセット・マネジメント業務であるのに、日本の資産運用会社は高付加価値ではないファンド・マネジメント業務の負担に苦しんでいる

資産運用会社が本当に集中したいのはこの①アセット・マネジメント業務



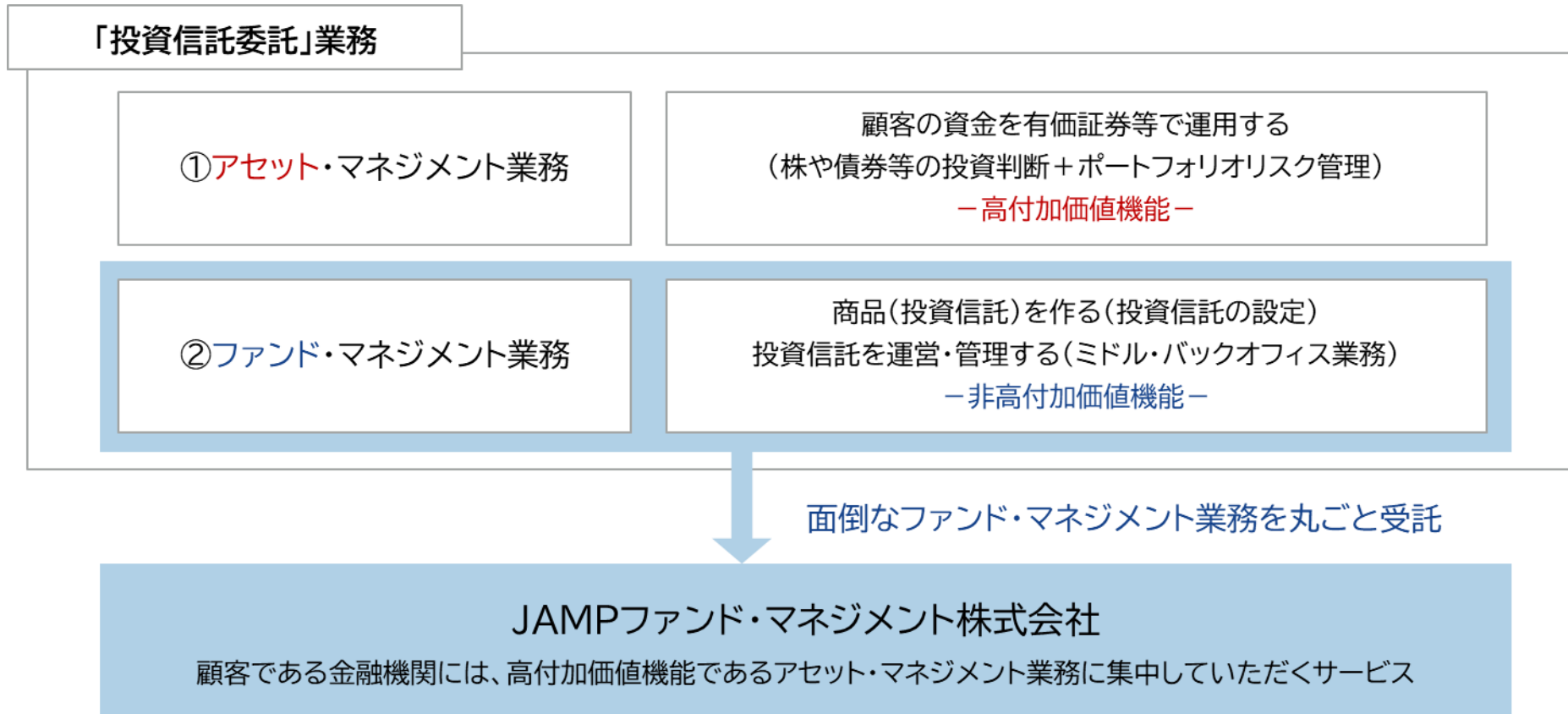
# 欧米に存在するファンド・マネジメント・カンパニーという業態

欧米には、非高付加価値業務である「ファンド・マネジメント」業務を専門に引き受ける **ファンド・マネジメント・カンパニーという業態**が効率的な業界構造の中心になっています。



# 日本初の専門ファンド・マネジメントカンパニーの設立

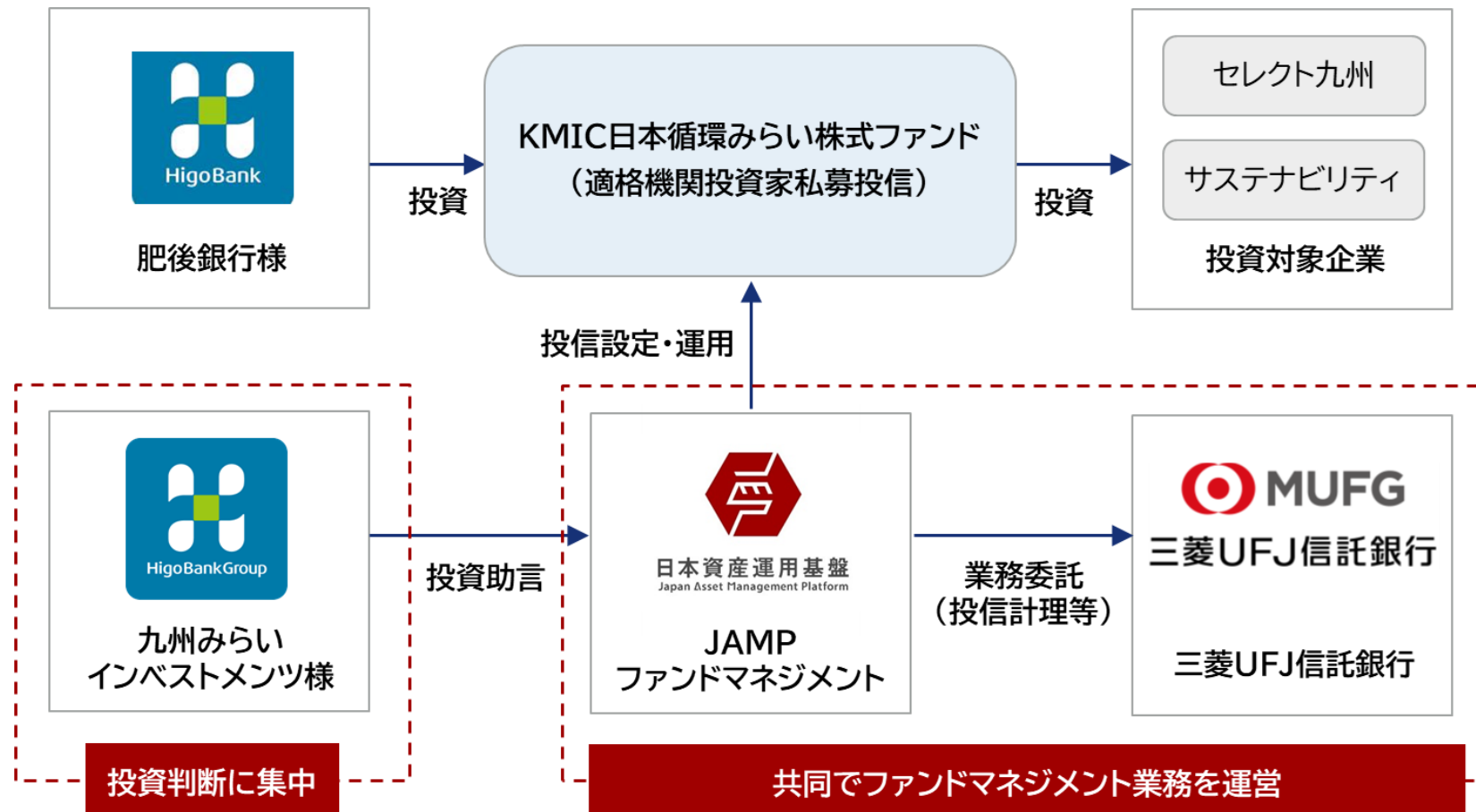
欧米では一般的なファンド・マネジメント業務を専門的に担うインフラが必要との考えのもと、金融庁とも協議し、日本初の専門ファンド・マネジメント・カンパニーを設立・登録しました。



欧米をはじめとする諸外国のようにファンド・マネジメント業務の切り離しを企図して、当社がファンド・マネジメント・カンパニー(FMC)を設立し、「投資信託委託業」の認可を受けた。

# ファンド・マネジメントカンパニーソリューションの概要

投資信託ビジネスへの参入や効率的運用を考えられる地域銀行や資産運用会社などに対して、**ファンドマネジメントカンパニー（投信ホワイトレーベル）ソリューション**を提供しています。



## 「資産運用立国」構想における弊社からの政策提言

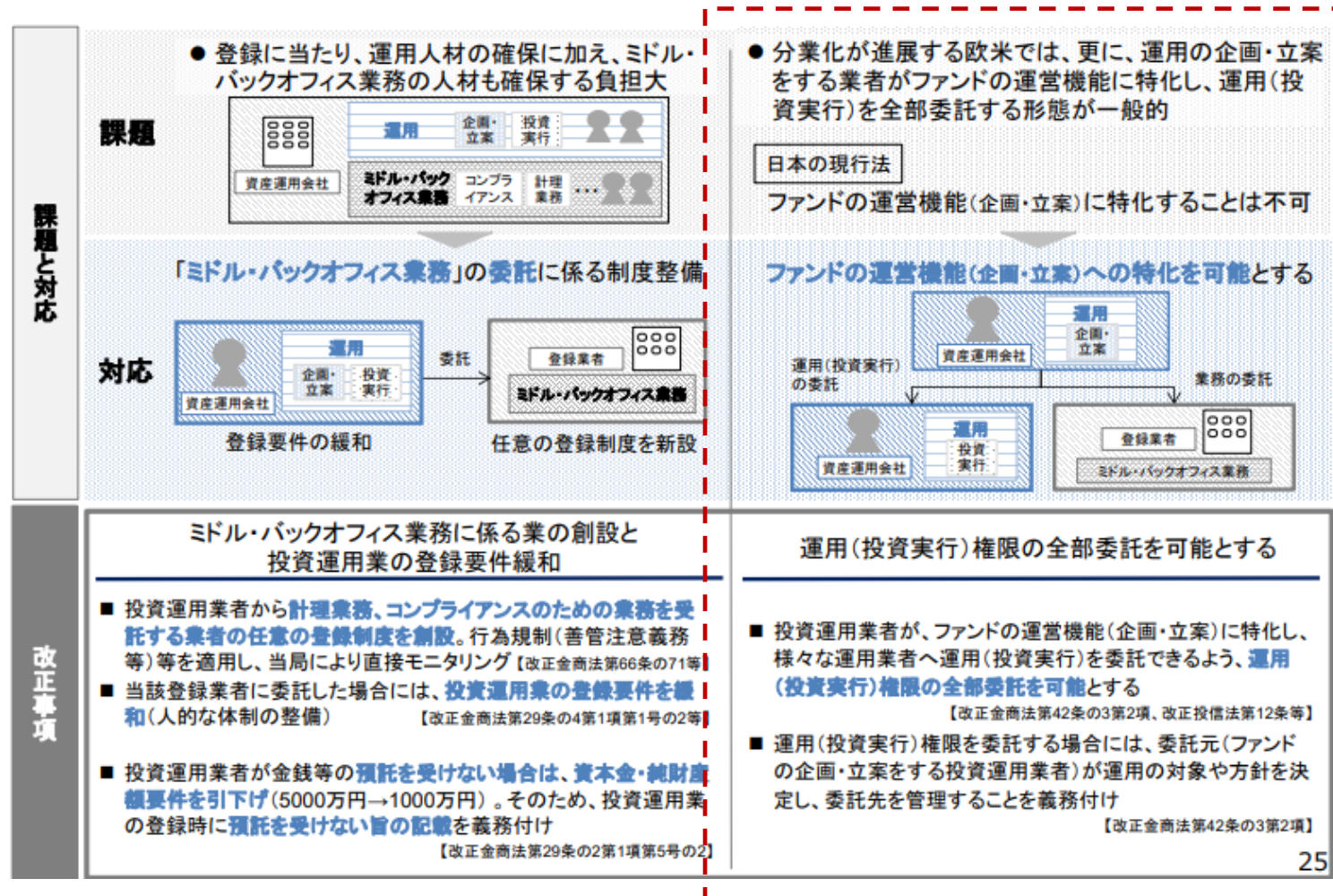
単にミドルバックオフィス業務を外部へ委託するだけでは事業効率化には不十分であり、弊社から与党や金融庁に対し、**抜本的に事業運営構造を改革するための施策を提言**しました。



(Data) 2023年11月開催の自由民主党 金融調査会の資産運用立国PTに出席した際の写真

# 制度的に公認されたファンド・マネジメント・カンパニー機能

ミドルバックオフィス業務の外部委託の促進に比べてあまり注目はされていない施策ですが、**ファンド・マネジメント・カンパニー公認**により、業界の**構造改革が進む**ことが期待されます。



# 金商法改正を受けて可能となったETFホワイトレーベルサービス

東京証券取引所と連携して公表したETFホワイトレーベルサービス開始は関心を集めており、既に海外運用会社や独立系運用会社などから多くのご利用希望のお問い合わせを頂いています。

## JPXからのお知らせ

2025/06/06 東証

### ETFに係るホワイトレーベル業者の参入について

[シェアする](#) [ポスト](#)

近年、諸外国においては、資産運用業務において、商品を企画する部分以外のミドル・バックオフィス業務等を担う、いわゆるホワイトレーベル業者を活用したETF（ホワイトレーベルETF）の組成が行われています。

これまで日本においては、こうしたホワイトレーベル業者は存在しませんでした。このたび日本資産運用基盤のグループ会社であるJAMPファンド・マネジメント株式会社より、ホワイトレーベル事業の開始が公表されましたので、お知らせいたします。

これにより、諸外国に上場しているETFに対して投資するETF（いわゆるETF of ETFsスキーム）の東証市場上場や、国内運用会社が投資助言（のみ）を行う形でのETF組成等、より多様なETFの登場が予想されます。新たな投資アイデアを迅速に東証ETF市場で実現しやすくなることで、投資家の皆様への多様な商品の提供に繋がることが期待されます。

## 東証ETF「ホワイトレーベル」開始

### 日本資産運用基盤が参入

東京証券取引所は6月6日、運用会社に対して広く上場投資信託（ETF）への開示を促すため、バックオフィス業務などを外部委託業者が担う「ホワイトレーベルETF」の受け入れをスタートすることを公表した。第1号として同日、日本資産運用基盤の子会社であるJAMPファンド・マネジメントが参入を表明した。

運用会社がETFを「改革でミドル・バックオフィス業務の外部委託が可能になった。ホワイトレーベルETFは、東証（JASDAQ）事業者など、一連の業務を全て担う必要があった。一気に押し進めることになりそうだ。」

「ETF市場の改革がオリエント・ファンドのETF商品を開発・提供できる環境も構築し、個人向け資産運用アドバイザーサービスの新しいモデル構築を支援する。」

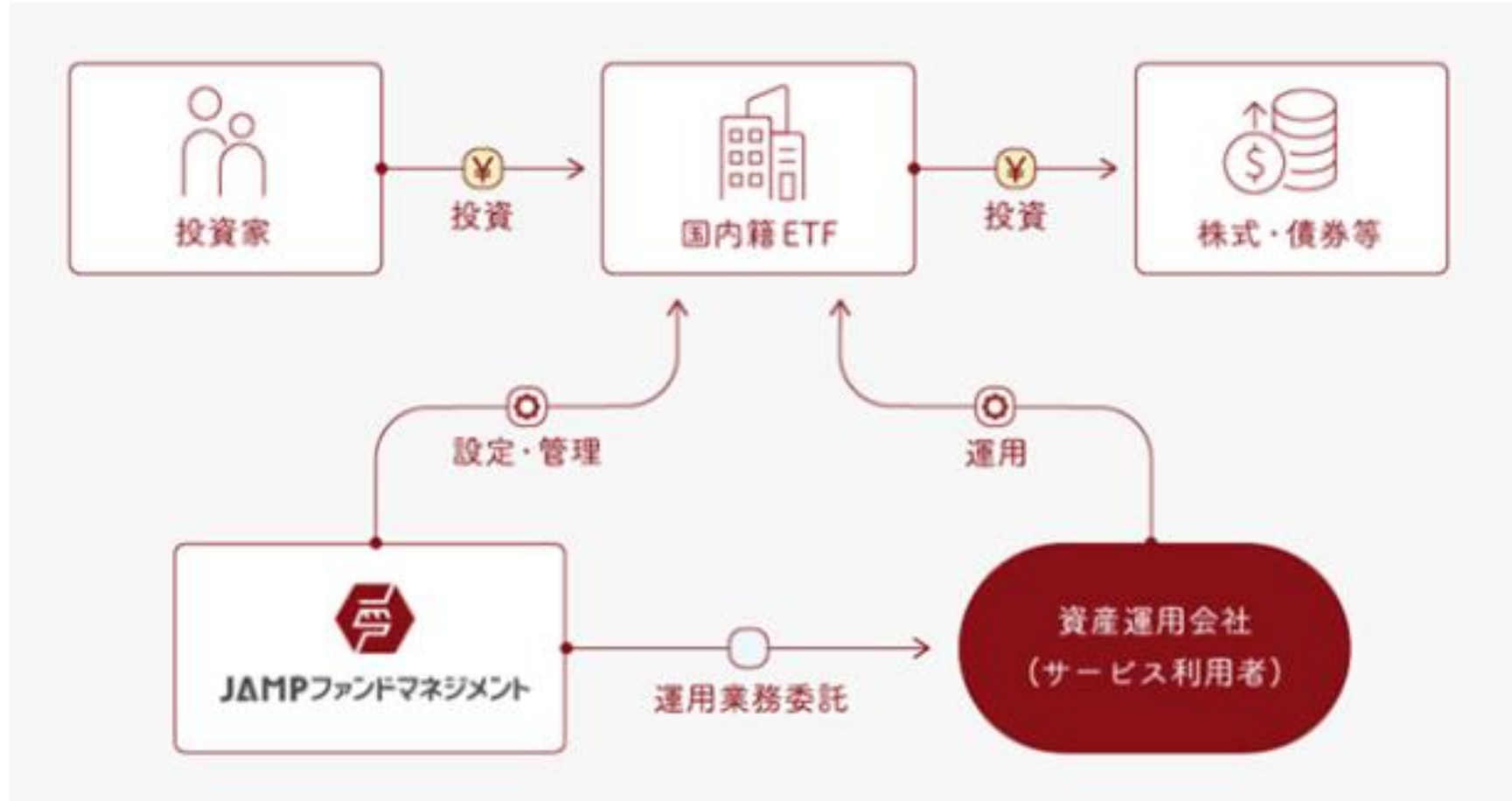
「ETFは、米国など海外にはホワイトレーベルETF事業者はいないのか」という問い合わせも継続的であったという。日本市場参入を希望する海外運用会社を呼び込むことにもなりそうだ。

東証の課本直樹執行役員は「これまで参入が難しかった新規運用会社の投資アイデアの具体化やETF組成の選取肢を促せる有効な手段」と期待する。

(\*）左側は日本取引所グループのHPより、右側は日本金融新聞（6月13日号）

# 資産運用会社によるETFホワイトレーベルの活用イメージ

サービスを利用する運用会社は、**負担が少なくETFの開発が可能**となります。





日本資産運用基盤  
Japan Asset Management Platform